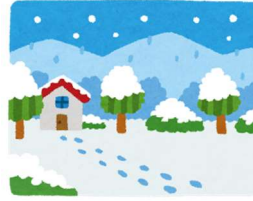


香福茸普及指導情報 令和6年度 第5号



1月以降の管理のポイント

1月からは香福茸発生最盛期になります。芽切りから収穫まで確認することが多くなりますが、適切な管理を行い香福茸の発生率を高めましょう。

散水を行うタイミングはシイタケの芽が乾いてきたときで、日中の暖かい時間に30分ほど行いましょう。大きくなったシイタケには水がかからないように袋掛けを行うようにしましょう。なお、夜間など寒い時間帯の散水はほだ木が凍ってしまうため行わないでください。

3月に入ると、気温が高くなり、傘が開きやすくなるため香福茸になりにくくなります。温度を下げるためハウスをあけっぱなしにするか、露地栽培にシフトしましょう。

露地栽培で行う場合は、出来るだけシイタケに雨や雪が付かないようにこまめに袋掛けを行うことや、ほだ木全体をビニール等で被覆すること等で良質なものが取れます。

今年度の目揃え会、初市の状況

令和6年度の目揃え会（初出荷時）香福茸出荷個数

香福茸金	0個
香福茸銀	17個
香福茸姫	75個
ふくい115	146個
合計	238個



令和6年度初市の香福茸販売金額

(御祝儀価格時)

(通常時 参考)

香福茸金		1,000円～860円
香福茸銀	1個当たり	6,000円～2,500円
香福茸姫	1個当たり	250円～167円
ふくい115	1個当たり	200円～100円

出荷先は、平和堂ベル店、越前市内の八百屋、県内の料理店等

参考 石川県（のとてまり）の令和6年度 販売金額（通常時）

のとてまりプレミアム（香福茸金相当）	1個当たり	約2,000円
のとてまり（香福茸銀相当）	1個当たり	約2,000円～1,700円
のと115（姫～115相当）	1個当たり	約1,400円～300円

次年度に向けて行うこと

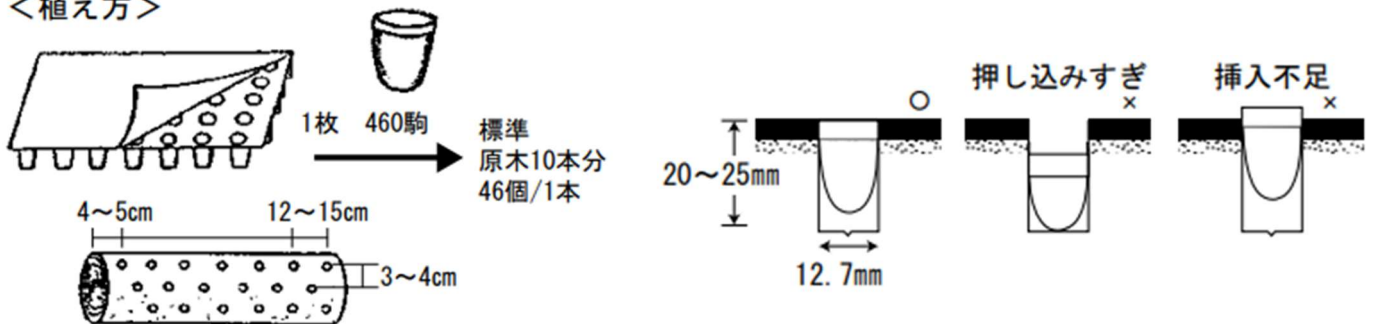
○原木・植菌の準備

10月末頃～1月に伐採玉切りした木を植菌がしやすいところ（ほだ場等）まで持って行き、電動ドリルで植菌孔を開け、形成菌（菌興115）を打込みます。植菌の適期は2月～4月（梅の花が咲くころ～桜の花が咲くころ）となっております。

植菌は1列4～5個で行い、隣の列と植菌孔の位置が重ならないように千鳥状に開けていきます。植菌孔の数は原木の直径の4～5倍の数が目安になります。

形成菌は乾燥しやすいため、全部ケースから出して打込むことはしないでください。また、直接地面に置いてしまうと雑菌が入る可能性があるため注意してください。

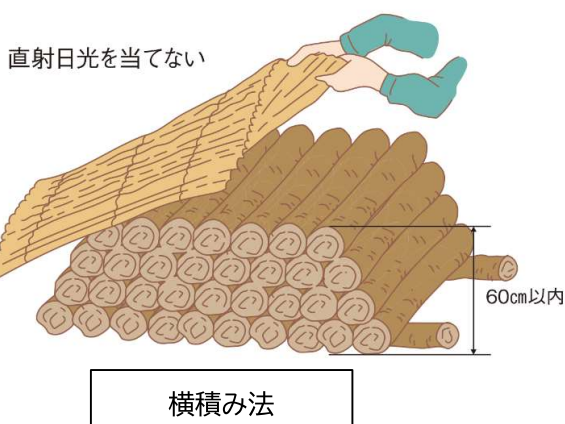
<植え方>



○仮伏せ

仮伏せは、植菌したほだ木にシイタケ菌を定着させるために行う行為です。仮伏せを行う期間は植菌後～6月までになります。植菌を行った原木は横積みし、遮光ネット等をかぶせます。この時に可能であれば散水をし、実施できない場合は出来るだけ直射日光の当たらない箇所で伏せこんでください。

この時期の適切な管理によって、良いほだ木の育成及び香福茸の発生に繋がります。



香福茸生産にかかる相談窓口

次回の香福茸普及指導情報の発行は6月上旬の予定です。

地域	事務所名	住所	電話番号
福井市、永平寺町	福井農林総合事務所 林業部	福井市松本3-16-10	0776-21-8213
あわら市、坂井市	坂井農林総合事務所 林業部	坂井市三国町水居17-45	0776-81-3223
大野市、勝山市	奥越農林総合事務所 林業部	大野市友江11-10	0779-65-1492
鯖江市、越前市、越前町 池田町、南越前町	丹南農林総合事務所 林業部	越前市上太田町41-5	0778-23-4961
敦賀市、美浜町 若狭町(旧三方町)	嶺南振興局 二州農林部	敦賀市中央町1-7-42	0770-22-0291
小浜市、高浜町、おおい町 若狭町(旧上中町)	嶺南振興局 林業水産部	小浜市遠敷1-101	0770-56-2218
総合窓口	総合グリーンセンター 技術指導G	坂井市丸岡町楽間15	0776-67-0002